

第三八回太子堂こどもマラソン大会 青少年太子堂地区委員会 会長 山崎 和則

コロナ感染症の影響で二年中止してしました「太子堂こどもマラソン大会」が二月十一日に三年ぶりに開催されました。

前日の大雪警報に気をもみましたが、当日は晴天のもと絶好のマラソン日和となりました。

太子堂小学校、中里小学校を中心とした太子堂地区に在住の小学生二八七名（エントリー三一八名）の参加のもと、こどもたちは普段の練習の成果を十二分に発揮して参加者全員が完走しました。特に一年生から三年生は初めてのマラソン大会で、走るときは「マスク」を外して気持ちよく走れたのではないのでしょうか。



開催にあたっては、事前の準備から当日の会場設営、マラソンコース周辺警備など、太子堂地区連合町会、地元のお店街、世田谷消防団第二分団、日赤太子堂分団、実行委員会を構成する



地区委員、小学校PTA、中学校PTA、こどもたちの伴走や会場整理などで活躍した太子堂中学校の生徒、まちづくりセンターを中心とした区職員をはじめ総勢二六六名をスタッフのご協力のもと開催できたことを大変ありがたく思っております。特に三年ぶりの開催とあって、PTAのスタッフをはじめ多くの方々が無経験の中でも、無事に開催できたことに感謝しております。

青少年地区委員会は、地域のこどもたちの健全育成を目的として、地域と触れ合う機会を作り、こどもたちが成長したら地域のために貢献して頂けるように、これからも活動してまいります。



私は、観察員として「こどもマラソン大会」に参加しました。児童がコースを危険なく安心して走れるのを守るのが職務です。

観察員記

第三ポイントに配置され（スタートから二〇〇メートルほどのカーブ地点）児童が走ってくるのを正面で待ちうけ右折を誘導する役目です。

一年生から四年生まで男女別でスタート、五・六年生は合同の男女別スタートです。いよいよ一年生男子がスタート、児童の集団が見えてきました。みんな目は正面を

向き跳ぶように走っています。

誰一人として諦める表情はありません。五・六年生までみんなおなじで一生懸命さが伝わってきました。「みんな凄い躍動している」と徐々に感動感激した自分でした。来年も児童の頑張りに期待・そして楽しみにしています。（ミニコミ S・N）

わが街で一〇〇年続く お店シリーズ①

大黒屋五代目 浅沼 啓之

大黒屋は三軒茶屋の駅ビル「キャロットタワー」を拠点として、四月で創業百二周年を迎えるあられ煎餅専門店です。

私は五代目として煎餅屋を営みつつ、世田谷・三軒茶屋地域に根差した活動を行っております。創業者のルーツは東京都の八丈島。東京から一番近い南国とも言われ、面積は山手線一周とほぼ同様のひょうたん型の島です。そんな八丈島から戦前に世田谷・三軒茶屋に移転し、五代に渡り繋いできた伝統が現在に至ります。

一〇〇年を迎えた煎餅屋の他に、地域活動として、世田谷法人会や東京商工会議所、東京青年会議所など、いくつもの地域団体に所属して参りました。こども向けのイベントや教育事業、世田谷区を中心とした地域密着型の活動を行っております。そういった経験から、お煎餅を販売するだけでなく、お煎餅を通じて様々なかたちで地域も盛り上げたいという考えに変化していきましました。三軒茶屋を知り、そして三軒茶屋に行きたくなる。そんな三軒茶屋の魅力をお煎餅で伝えるのがわたしの使命、目指したい事業と考えております。

地グルメや特産品等を知ってもらい、三軒茶屋の交流人口を増やしたいと考えます。実際に三軒茶屋の企業・学校・イベントとコラボする事で三軒茶屋の魅力を発信、まちなか観光にも繋がっております。昔ながらの温かさや近代的な街並みが入り混じる、三軒茶屋の良さを、味わいを通じてお煎餅で伝える事。そして、創業時からの伝統の味と「文化」「暮らし」「食」「観光」「商店街」など、三軒茶屋全体を通して魅力を一緒に発信していければと存じます。私のこの活動が、こども達が成長した際に三軒茶屋に生まれて良かったと思える街づくりに貢献できれば幸いです。

〈行事予定〉

- 3月17日 三宿中学校夜間学級卒業式
- 3月20日 中学校卒業式
- 3月24日 小学校卒業式
- 4月6日 小学校入学式
- 4月6日 三宿中学校夜間学級入学式
- 4月7日 中学校入学式
- 4月17日～22日 世田谷区議会議員・区長選挙期日前投票
- 4月23日 世田谷区議会議員・区長選挙
- 5月19日 太子堂連合町会総会
- 6月3日 太子堂地区合同防災訓練
- 6月4日 世田谷消防団ポンプ操法大会
- 6月25日 古着・古布回収